

江ノ口川の景観デザイン

いであ(株) 藤崎美貴

1. 目的

2015年3月高知市永国寺町に多くの学生が集う複数大学のキャンパスが竣工された。その新しい大学の北側には高知市の中心部を流れる江ノ口川に面しているが、川底にはゴミが溜まり、護岸はコンクリート三面張りとなっており、魅力的な河川環境とは言い難い。この場所を整備することで人々の水辺への関心が高まり、水質の改善・美しい景観形成を促すことが考えられる。よって、キャンパスの魅力を高めるとともに、親水性の向上を図ることのできるデザインを考えるものとした。



図1. 現況写真

2. 対象敷地

対象敷地は高知県立大学永国寺キャンパスの北側である。高知市中心部であり、周辺に教育機関や観光地も近く、駅などの交通網も発達している。かつては城下町であり、対象地の少し上流側には高知城の堀へとつながる。デザインを行う範囲として、豊栄橋と中の橋の間の200m程である。



図2. 対象位置

3. 現況状況

3.1. 水質について

高知市HP地下水水質調査(H26年)より、生活環境保全に関する環境基準の類型はC評価¹⁾(水産3級・工業用水1級)である。以前に比べて水質は目に見えて良くなっているが、江ノ口川に合流する支川では一部下水道が完備されていないため、江ノ口川との合流部で水質の数値が低く出てしまっている。改善していくためには、下水道の完備と水質改善活動の活発化が必要である。

3.2. 交通量調査

キャンパスと川の間には道路があり、歩行者中心の道路とすべく交通調査を行った。調査日は、平日と休日の計3日間行った。調査時間は、7:00~9:00、12:00~14:00、16:00~18:00とし、交通量が多いと思われる朝、昼、夕に2時間ずつ計測した。結果は図3に示す。結果を見ると自転車の交通量が最も多く、周辺に学校が多いため、学生の割合が多い。もともと一方通行であり、時間帯によっては路上

駐車が可能となっている場所であるため、交通量は比較的少ない。また、周辺に道路が多くあるため、仮に工事で通行止めとなった場合でも

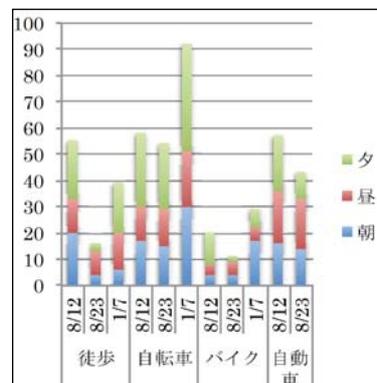


図3. 交通調査結果

大きな問題はないと判断できる。

3.3. 河川の現況断面・水位

大学前の河川の護岸は、パラペットのある急傾斜護岸である。河川内に降りるための階段等はなく、親水性は皆無である。また、対象敷地は下流部に位置するため、水位は潮の影響を受ける。満潮・干潮時の水位は断面図に示す。

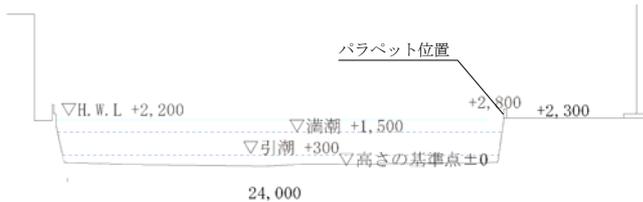


図4. 現況標準横断面

4. 基本方針

基本方針は以下の4つの項目を考慮する。

- ①護岸部の安全性など治水面を考慮する。
- ②親水性を向上させる。
- ③交通は歩行者・自転車のみの通行とする。ただし、対象地の東側の店舗前は自動車の出し入れが必要となってくるため、自動車の走行を許容する。
- ④かつての城下町であり、大学の前であるといった土地の特徴にあったものとする。

これらの方針を含めて、「水辺を楽しむ空間」をコンセプトとする。

5. デザイン概要

水際線は、現況の真っ直ぐであった部分を曲線とした。水際の曲がり部分や階段・スロープの下には水制工を設置することで、緩やかな流れと親水空間を生み出す。その上で、現況よりも川幅を広げないように水際線を曲げることで、河積を狭めることのないようにした。また、敷地東側の大学の駐車場を縮小させオープンスペースを確保した。街路樹には桜並木を配置する。

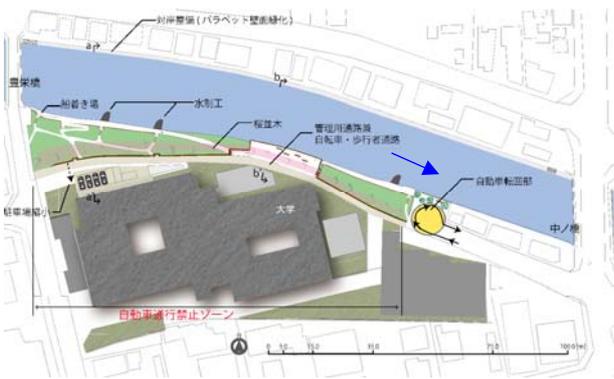


図5. 全体平面図

右岸側護岸形式は、水辺へ近づきやすくするため緩傾斜部と2段式の護岸を組み合わせる形式とした。2段式部の小段に遊歩道を設けることとする。上部を緩傾斜化するため、パラペットをキャンパス側へと後退させることで緩やかな傾斜を可能とした。ただし、キャンパスと護岸の間の幅が狭く、十分な道路の幅を確保できない区間においては、現況の護岸と同じ断面として、パラペットは前面に突出し

ている。計画高水位時には、パラペットの位置まで浸水することを想定している。

現況は休憩スペースであったこの場所を自転車転回部とし、既存樹木はそのまま利用することとした。

護岸は自然石による石積みであり、水際には水生植物や寄せ石を設置することで、川らしさを創出する。左岸側は住宅が護岸に近接しており、手を加えることは現実的でないため、パラペットの壁面緑化を行うものとする。



図6. 模型写真

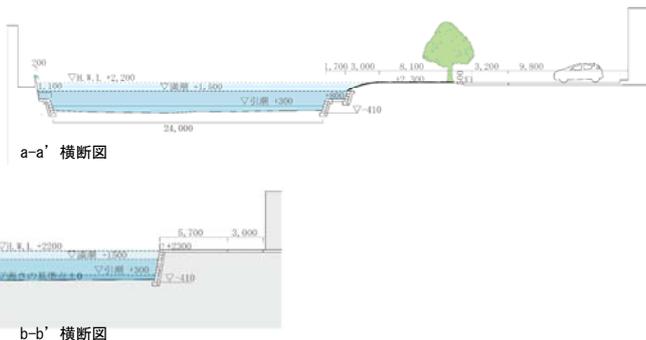


図7. 横断面

6. おわりに

本研究では、大学前の河川空間の親水性の向上を図り、水辺へ近づきやすい空間とするためにパラペットを用いて護岸の形状を変化させ、単調とならない水際線を検討した。

今回の検討ではこの場所らしさが不十分であったと考える。単に親水性が高いだけでなく、地域の人々に愛着を持ってもらえるような土地の特性を生かした工夫ができればよかったと考える。

7. 参考文献

- 1) 高知県HP 平成26年度公共用水域及び地下水質の水質測定結果 (3) 測定結果総括表・個表
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030801/mizu-kekka-h26.html>